

## 日本年金機構情報漏えい事故に係る問題点と新宿区の対策状況について

### 1. 事件の概略（別紙 1）

- (1) マルウェアの感染を意図した添付ファイルを職員が開封し端末がウイルスに感染。
- (2) ファイル共有サーバーに保存されていた重要情報が窃取された。

#### 【被害の経過】

- |          |                     |
|----------|---------------------|
| 5/8～5/18 | 複数の職員端末へのウイルス感染を確認  |
| 5/28     | 個人情報の外部流出が判明        |
| 6/1      | ウイルス感染及び外部への情報流出を発表 |

#### 【被害の内容】

職員の端末が不正アクセスを受け、年金受給者の個人情報約 125 万件が流出  
(重複を除き、約 101 万人超と報道)

### 2. 日本年金機構の主な問題点（別紙 1）

#### 【問題①】

- パスワードによる認証は機能していたのか。
- ウイルス対策ソフトは最新のものだったのか。

#### 【問題②】

- 個人情報等の重要情報が容易に取り出せる状態だった。
- ファイル共有サーバー内の情報が、誰でも利用可能な状態だった。

#### 【問題③】

- 不審な通信を監視・遮断する仕組みが無く、外部に情報漏えいしてしまった。

### 3. 新宿区の主な対策状況（別紙 2）

#### 【対策①】

- 厳格なパスワード認証を実施（複雑性・定期的な変更を強制）
- 常に最新のウイルス対策ソフトを適用（システムによる自動更新・スキャン）

#### 【対策②】

- サーバーからの情報の持ち出しを制限（外部媒体不可、パソコンへの保存不可）
- 職員が利用できる情報の範囲を限定（係・課・部単位で利用制限）

#### 【対策③】

- 不審な通信を監視・遮断し、情報漏えいを未然に防止（標的型攻撃対策）

#### 【その他の対策】

- 全職員を対象として情報セキュリティ自己チェック
- 情報セキュリティ内部監査・外部監査の実施
- 不審メール受信時の対応訓練 など

※ 以上、様々な対策を継続的に講じ、セキュリティ事故防止に万全を期している。